

現代日本の写実絵画

ホキ美術館
HOKI MUSEUM

SPARK + 君は若かった あの時

That Initial Realist Spark:
When You Were Young

写実画家の
若き時代の記念碑的な作品と
現在の作品を展示します。

2018年5月24日[木]~11月18日[日]

企画展示室 ギャラリー1にて開催

2009年

塩谷亮《模写 ヴェロッキオ工房『キリストの洗礼』(部分)》(部分) 作家蔵



2014年

塩谷亮《17歳のシモーネ》ホキ美術館蔵

若き頃の想い－あの時君は若かった－

ホキ美術館の写実絵画コレクションは、1998年、森本草介の『横になるポーズ』から始まり、現在では450点を超えてます。常に現代作家の最新作を中心に蒐集してきました。そのため、初期のコレクションは作家の若き日々の作品でもあります。

そこで、本展では現在活躍している画家が若かった頃、どのような作品にインスピレーションを受けたのか、写実絵画へ進むきっかけとなった作品や、エポックメーリングな作品と現在の作品を紹介します。

たとえば、青木敏郎(1947年生まれ)は、京都に生まれ、東京造形大学在学中にヨーロッパ留学のきっかけを掴み、フェルメールの「デルフトの眺望」に出会い、模写することで、その後の指針としました。



30代の頃に描いた作品



青木敏郎《模写 フェルメール「デルフトの展望」》1978年 作家蔵



五味文彦《僕人の囁き》1991年 作家蔵



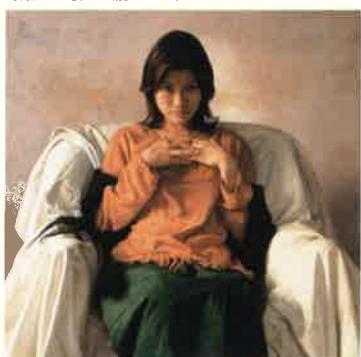
石黒賢一郎《VISTA DE NÁJERA》2005年



島村信之《寝室の朝》2001年



塩谷亮《朝》2005年



小尾修《審》1998年



ホキ美術館が最初にコレクションした画家の最初の1枚



森本草介《横になるポーズ》1998年



大畠稔浩《瀬戸内海風景ー川尻港》2003年



大矢英雄《春の風の理由》2000年



藤原秀一《ひまわり畠》2006年



若手作家のデビューの頃



山本大貴《symptome》2007年



廣戸絵美《廊下》2010年



三重野慶《信じてる》2016年



藤田貴也《Tangnuer no.2》2013年

ホキ美術館 HOKI MUSEUM

〒267-0067 千葉市緑区あすみが丘東3-15 お問い合わせ TEL.043-205-1500

ホームページ <http://www.hoki-museum.jp>

*各種ツアー、ミュージアムトークのご案内はHPをご覧ください。

開館時間：10:00 - 17:30 *入館は17:00まで。(6月30日は閉館のため16:30閉館)

(5月3日～5日、7月15日、8月11日、9月16日、9月23日、10月7日、11月3日はナイトミュージアムのため19:30閉館)

休館日：火曜日 *火曜が祝日の場合開館、翌日休館。但し 8月14日(火)開館、22日(水)休館

入館料：一般1800円 / 高・大生・65歳以上1300円 / 中学生900円 (入館料は常設展ギャラリー2~9を含む)

*小学生以下無料 (但し保護者1人につき小学生2人まで)

●電車：東京駅から約70分 JR横須賀線・総武線 千葉駅乗換、あるいはJR京葉線・蘇我駅乗換、JR外房線 土気駅南口下車、あすみが丘ブランニューモール行きバスで5分「あすみが丘東4丁目」下車すぐ ●お車：東金道「中野インター」より15分、圏央道「茂原北インター」より10分 有料駐車場＝普通乗用車40台

